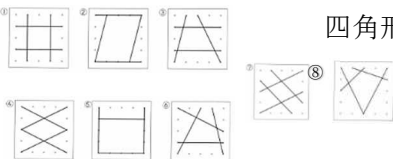
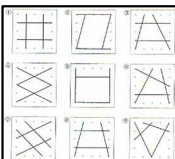
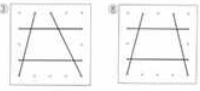
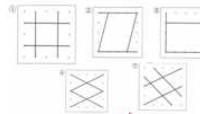
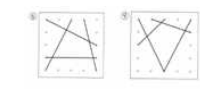


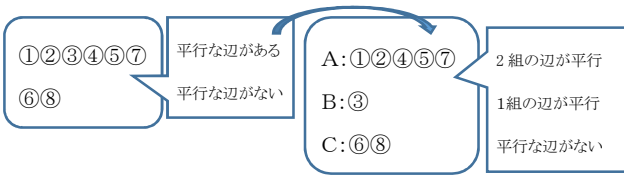
算数コース別指導(のびのびコース、じっくりコース)の違いについて

4年生の授業：「いろいろな四角形」に関して

| のびのびコース | じっくりコース |
|---|--|
| <p>基本問題</p>  <p>四角形を仲間分けしましょう。</p> |  |
| <p>問題</p> <p>8つの図形を数種類の仲間に分けましょう。</p> | <p>9つの四角形をいくつかのグループに仲間分けしてみよう</p> |
| <p>基本の問題は、同じだが、視点から考えさせる問題(のびのび)と視点を与えて考えさせる問題(じっくり)として、コース別の子どもたちに合った課題づくりへとつなげていく。</p> | |
| <p>見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 何か基準を決めないと分けられないな。 これまで勉強したのは、辺の長さ、角の大きさ、平行、垂直だったな。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> このどれかを使うと、何個かのグループに分けられそうだ。 | <p>手がかり</p> <ul style="list-style-type: none"> 角に注目できる。(1時間目の板書を貼る) 教室掲示を見ながら、直角の有無による仲間分けをもう一度全体で行う。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> もう1つの仲間分けできないか? 辺に注目できるぞ。 |
| <p>課題</p> <p>何をキーワードにすると、どんな分け方ができるだろうか。</p> | <p>課題</p> <p>平行な直線の組の数に目をつけて、仲間分けするにはどうしたらよいか。</p> |
| <p>「のびのび」コースの課題の特徴：分類する根拠を探る課題、 「じっくり」コースの課題の特徴：視点を細かく(平行の組)与えて、考えやすく、追求しやすい課題</p> | |
| <p>考え・交流</p> <p>○角の大きさに注目 (直角があるか、ないかの仲間分けは既習済み)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>①⑤ 4つとも角の大きさが等しい(直角)</p> <p>②④⑦ 2つの角の大きさが等しい</p> <p>③⑥⑧ すべて等しくない</p> </div> <p>○辺の長さに注目</p> <p style="text-align: center;">さらに詳しく分けた</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①④ 4辺とも等しい</p> <p>②③⑤ 4辺が等しくない</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①④ 4辺とも等しい</p> <p>②⑤ 2組の辺が等しい</p> <p>⑦ すべて等しくない</p> </div> </div> | <p>考え・交流</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなで1つずつ仲間を考えていく。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>向かい合った1組の辺が平行な四角形</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>向かい合った2組の辺が平行な四角形</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>向かい合った辺が平行でない四角形</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・平行な辺の組に色をぬらせる手立てをとる ・1組見つけたら赤色、2組目は青色を使ってぬらせ、どこに注目して、仲間分けしたのか説明を助 |

○辺の関係（平行）に注目

さらに詳しく分けた



* 友達の考え（分けた結果）から、視点を考えさせるように進めていく。


* ここで、Bの形の仲間を台形、Cの形の仲間を平行四辺形であることをおさえる。

まとめ

四角形の仲間分けをするためには、角の大きさや辺の長さ、さらには辺が平行かどうかをキーワードにすると、さまざまな仲間分けができる。
その1つに、台形(向かい合った1組の辺が平行) 平行四辺形(向かい合った2組の辺が平行)、その他という仲間分けもできる。

深める問い

A:①②④⑤⑦
 B:③
 C:⑥⑧

このような分け方で考えると、

 は平行四辺形Aの仲間に入る。正しいかな。

ゆさぶるような問い

Aに入りそうな等脚台形を掲示し、本当にAに入るのかを考えることにより、台形と平行四辺形の違いを平行という視点で確かめられる。

・理由をきちんとと言わせる。その中で、向かい合った辺、平行というキーワードをもう一度確認させる。

練習・ふり回り

毎日行っている、「ステップアッププリント」で台形、平行四辺形の定義、分類ができていくか見取る。

ける手立てとする

- ・ 机間指導の際の言葉がけもどこに注目したのかを問いかける
- ・ 全体交流の場面では、児童の説明に合わせて、具体物の操作は教師が行い、児童は**どこに注目**したかの説明に集中できるようにする

- ・ 全体交流で出てきた**分別するときの視点(平行な辺)**を確認して、まとめにつなげる

まとめ

○向かい合った 1 組の辺が平行な四角形を台形という。
○向かい合った 2 組の辺が平行な四角形を平行四辺形という。

ふり回り

- ・ わ「わかったこと」、こ「コメント」の視点でふり返る